

アメリカ針葉樹企業の代表団が来日

日本木材輸入協会と情報・意見交換

アメリカ針葉樹企業の代表団が来日した。東京都内のホテルで、米国企業側の代表団は日本木材輸入協会のメンバーと、日本と米国の着工、木材需要予測などについて発表、意見交換などを行った。これはアメリカ針葉樹協議会が主催、米国大使館農務部が後援する年末の恒例行事で、代表団の来日は今回で24回目。

今後も日本市場を大切に

アメリカ木材業界来日代表団の代表である、ボブ・ルイス社長は「今回は、インターフォー、ウエアーハウザーはじめ、アイデアフォレス



ボブ・ルイス社長

ト、カルバートからも参加があり、メンバーの顔ぶれが多少変わった。いずれも日本向け販売に深く携わるメンバーで、米国の日本市場への関心の深さを示すものだ。今回は日本

でどんな需要機会があるのかご意見を伺いたい」とあいさつした。ルイス社長は続けて「米国における木材の需要と供給2014、2017」をテーマに見通しについて次のように述べた。

米国の雇用はここ2年半で改善しており、月間20万人、正規雇用が増えている。賃金も住宅着工も回復しているがそのペースは緩慢だ。だが、中古住宅の販売が伸びている。2014年の住宅着工は100万7000戸、15年は121万2000戸、16年は143万6000戸、17年は156万2000戸を予測する。

米国の製材需要は、14年は413億4400万BF、15年は448億6800万BF、16年は481億7800万BF、17年は502億4900万BFで、17年の木材需要は14年比2割増を予想している。

米国の住宅着工、木材需要が増加すると、米国市場を優先する意向が働き、日本向けの出荷が出てこなくなるのではないかと質問もあったが、ルイス社長は、「製材の生産量は増えており、需要増はカバーできる。米国へも日本へも必要量の供給はできると考え

ない」と回答した。高値水準が続く米松丸太については、「中国、米国の需要が好調で、また、製材工場間の競争、合板工場との競争があることから価格がさらなる上昇が見込まれる。米国政府は日本と違い、公有林の伐採を奨励していないことも相場を押し上げる一因となっている」と述べた。

供給はできると考えない」と回答した。高値水準が続く米松丸太については、「中国、米国の需要が好調で、また、製材工場間の競争、合板工場との競争があることから価格がさらなる上昇が見込まれる。米国政府は日本と違い、公有林の伐採を奨励していないことも相場を押し上げる一因となっている」と述べた。